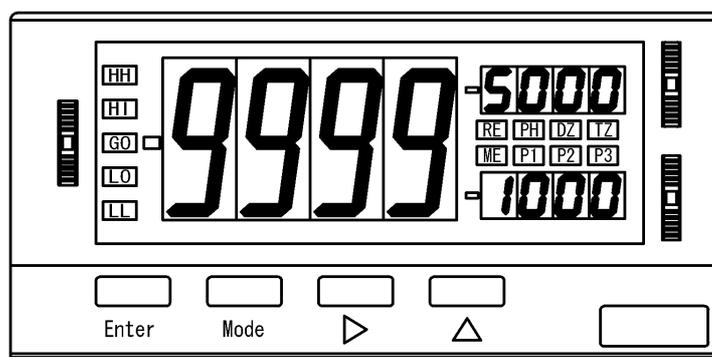


# ユニバーサルデジタルパネルメータ

## EDI62S

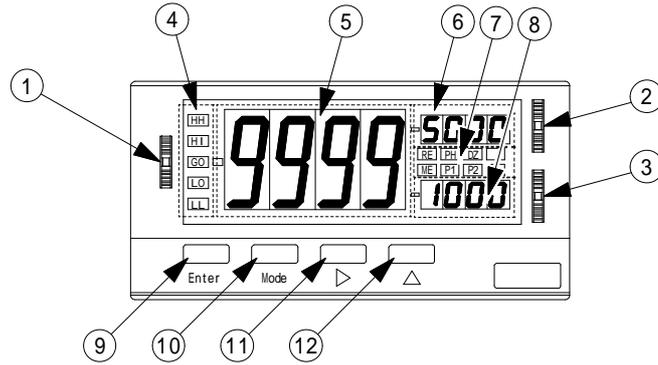
### 簡易取扱説明書



#### 記載内容

1. 表示ユニット 各部の名称
2. プロテクトレベル設定 変更方法
3. スパン・ゼロ校正方法
4. 小数点位置 変更方法
5. シフトデータ設定 操作方法
6. デジタルゼロ機能 操作方法
7. エラーメッセージ一覧表

1. 表示ユニット 各部の名称



場所	名称	主な機能																												
①	ジョグレバー 1	パラメータ設定時のメニュー選択及び内容選択、インクリメントと併用してパターンセレクト																												
②	ジョグレバー 2	メーターリレー時の判定値変更、インクリメントと併用して現在の測定値を判定値へ移行、メーターリレーなし時の最大値等の切り替え。																												
③	ジョグレバー 3	メーターリレー時の判定値変更、インクリメントと併用して現在の測定値を判定値へ移行、メーターリレーなし時の最大値等の切り替え。																												
④	判定モニタ	メーターリレー時の判定結果の表示																												
⑤	メインモニタ	測定値、パラメータ設定時のメニュー名や内容の表示																												
⑥	サブモニタ 1	メーターリレー時の判定値表示、メーターリレーなし時の最大値等の表示																												
⑦	機能モニタ	RE 通信機能によりリモート制御状態となったときに点灯																												
		PH ピークホールド/パレーホールド/ピークパレーホールドがONになった時に点灯																												
		DZ デジタルゼロがONになった時に点灯																												
		TZ トラッキングゼロがONになった時に点灯																												
		ME デジタルゼロバックアップがONになった時に点灯																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>パターン1</th> <th>パターン2</th> <th>パターン3</th> <th>パターン4</th> <th>パターン5</th> <th>パターン6</th> <th>パターン7</th> <th>パターン8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P 1</td> <td rowspan="3">消灯</td> <td rowspan="3">消灯</td> <td>点灯</td> <td>消灯</td> <td rowspan="2">点灯</td> <td rowspan="2">消灯</td> <td>点灯</td> <td>消灯</td> </tr> <tr> <td>P 2</td> <td>点灯</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> <td rowspan="2">点灯</td> </tr> <tr> <td>P 3</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> <td>消灯</td> <td>点灯</td> <td>点灯</td> </tr> </tbody> </table>		パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5	パターン6	パターン7	パターン8	P 1	消灯	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	P 2	点灯	消灯	消灯	点灯	P 3	消灯	消灯	消灯	消灯
	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5	パターン6	パターン7	パターン8																						
P 1	消灯	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯	点灯	消灯																						
P 2			点灯	消灯			消灯	点灯																						
P 3			消灯	消灯	消灯	消灯	点灯		点灯																					
⑧	サブモニタ 2	メーターリレー時の判定値表示、メーターリレーなし時の最大値等の表示																												
⑨	エンター	パラメータ設定モードへ移行																												
⑩	モード	パラメータ設定時のモード変更、通常測定時のメモリモードへの移行(長押し)																												
⑪	シフト	パラメータ設定時の桁変更、通常測定時のデジタルゼロ制御																												
⑫	インクリメント	パラメータ設定時の数値又は内容変更、通常測定時のパターンセレクト(長押し)、特殊操作																												



3. スパン・ゼロ校正方法 (プロテクトレベルが「0」のときに使用可能です)

(測定動作)



測定動作中にジョグレバー1を押すことにより設定モードへ移行します。

[ cond ] 点滅



ジョグレバー1を上または下に複数回倒してメインモニタに **cAL** 表示を点滅させます。

[ cAL ] 点滅



ジョグレバー1を押します。

設定するパターンを選択します。  
ジョグレバー1を上下に倒して選択します。  
(パターン数設定が「1」の場合は選択できません)



ジョグレバー1を押します。

センサ電源設定

センサ電源設定

ジョグレバー1を押してセンサ電源を変更します。  
(ジョグレバーの上下で変更。Modeキーで決定)

ゼロ入力値設定

ゼロ入力値設定

ジョグレバー1を押してゼロ入力値(mV/V)を設定します。  
等価校正時

↑ : 桁の移動    ↓ : 数字の変更    Mode : 決定

ゼロ表示値設定

ゼロ表示値設定

ジョグレバー1を押してゼロ表示値(kg)を設定します。

↑ : 桁の移動    ↓ : 数字の変更    Mode : 決定

スパン入力値設定

スパン入力値設定

ジョグレバー1を押してスパン入力値(mV/V)を設定します。  
等価校正時

↑ : 桁の移動    ↓ : 数字の変更    Mode : 決定

スパン表示値設定

スパン表示値設定

ジョグレバー1を押してスパン表示値(kg)を設定します。

↑ : 桁の移動    ↓ : 数字の変更    Mode : 決定

ジョグレバー1を上側に倒すと、「センサ電源設定」へ戻ります

設定後は  キーを押して測定動作に復帰してください。

4 . 小数点位置 変更方法

(測定動作)



測定動作中にジョグレバー 1 を押すことにより  
設定モードへ移行します。

[ cond ] 点滅



ジョグレバー 1 を上または下に複数回倒して  
メインモニタに **NET** 表示を点滅させます。

[ nEt ] 点滅



ジョグレバー 1 を押します。

設定するパターンを選択します。  
ジョグレバー 1 を上下に倒して選択します。  
(パターン数設定が「1」の場合は選択できません)



ジョグレバー 1 を押します。

[ d L H i ] 点滅



ジョグレバー 1 を上または下に複数回倒して  
サブモニタ 2 に **dP** 表示を点滅させます。

— 小数点位置設定

小数点位置設定

ジョグレバー 1 を押して少数点位置を変更します。  
(ジョグレバー押すと小数点位置変更。Enterキーで決定)  
(小数点無しの場合は、4桁全点灯させてください)

設定後は  キーを押して測定動作に復帰してください。

## 5. シフトデータ設定 操作方法 (プロテクトレベルが「0」のときに使用可能です。)

入力信号の傾斜を変えずに表示を任意にシフトさせる機能です。

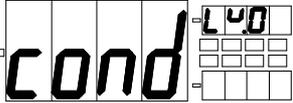
### シフトデータ設定の操作方法



(測定動作)



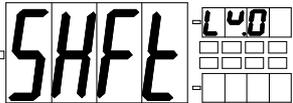
測定動作中にジョグレバー1を押すことにより設定モードへ移行します。



[ cond ] 点滅



ジョグレバー1を上または下に複数回倒してメインモニタに **SHFE** 表示を点滅させます。



[ SHFT ] 点滅  
プロテクトレベルが0以外のときは表示されません



ジョグレバー1を押します。



メインモニタに現在の表示値が表示されます。  
サブモニタ1(右上の小モニタ)に現表示値を何digitシフトさせるか入力します。  
(入力にはサブモニタ1の右側のジョグレバー2を使用します)

 : 桁の移動     : 数字の変更     : 決定

決定後、メインモニタにシフト値を反映した数値が表示されます。

設定後は  キーを押して測定動作に復帰してください。

## 6. デジタルゼロ機能 操作方法

デジタルゼロ機能のON/OFF制御は「端子制御」と「前面キーによる操作」があります。  
 「端子制御」と「前面キーによる操作」はコンディションデータで設定します。  
 初期設定は「前面キーによる操作」となっています。

デジタルゼロ機能（前面キー制御）の操作方法

(測定動作)

↓ (長押し) 測定動作中にシフトキーを約3秒間押すことにより、その時点の表示をゼロとします。

DZ インジケータ点灯

再度シフトキーを約3秒間押すことによりデジタルゼロ機能が解除されます。

デジタルゼロ制御方法の切替え方法（初期設定：前面キー制御） プロテクトレベルが0の時に設定可能

(測定動作)

↓ (ジョグレバー1) 測定動作中にジョグレバー1を押すことにより設定モードへ移行します。

[ cond ] 点滅

↓ (ジョグレバー1) ジョグレバー1を押します。

(平均回数設定) プロテクトレベルにより表示内容が異なります

↓ (ジョグレバー1) ジョグレバー1を上または下に複数回倒してサブモニタ2に **dEeC** を表示させます。

ジョグレバー1を押します。  
 ジョグレバーの上下でデジタルゼロ制御を変更します。  
 (初期設定は「SW(前面キー)」です)

↑ ↓ : 制御方法の変更    Mode : 決定

( **Su** : SW(前面キー) )  
 ( **EERN** : TERM(外部制御端子) )

設定後は **Enter** キーを押して測定動作に復帰してください。

7.エラーメッセージ一覧表

どんなとき発生？	表示	エラー内容	復旧方法
電源投入時、及び測定中。		入力ユニット実装エラー。	後方から見て各ユニットの基板が、取れかかっているか確認してください。取れかかっていると思われる場合、ケース上面、下面のツマがはまるまで奥に押し込んでください。復旧しない場合は、購入店、または弊社までご連絡ください。
測定中。		入力値、表示値が測定範囲を超えている状態	測定範囲、表示範囲内に入力が戻れば、数値表示されます。
測定中。		ピークホールド機能がオンした状態で、入力値、表示値がオーバーし、測定範囲内に戻った状態。	ピークホールドを解除してください。現在値が表示されます。
電源投入時。		ホールドしながら電源を立ち上げた場合、メーターが入力待ちとなります。又はパワーオンディレイ時間が有効になっている場合の表示	スタート/ ホールド、ピークホールド機能を一旦OFFしてください。数値表示に戻ります。
設定中。		設定時、コンパレータデータの大小関係、ヒステリシスデータの大小関係が条件を満たしていない。	コンパレータデータの設定値を確認し、設定しなおしてください。全面ジョブレバー、にて設定しなおしてください。(取説2頁 4.1表示ユニット参照)
設定中。		設定時、キャリブレーションデータのゼロ入力値設定が設定範囲を超えている。	等価校正の場合、設定値を範囲内に、実負荷校正の場合、入力負荷を範囲内にして設定しなおしてください。取説8頁5.6参照 (範囲 -1.2000 ~ +1.2000mV/V)
設定中。		設定時、キャリブレーションデータのゲインが上限を超えている。	スパン入力値1mV/V未満で、スパン設定値9999の設定は不可です。スパン入力設定値と、表示値の関係を見直してください。(桁を一桁落とすなど)入力が0.5mV/Vしかない場合、5000表示までです。取説8頁5.6参照
設定中。		設定時、キャリブレーションデータのスパン入力値が測定可能範囲を超えている。	実負荷校正時、入力が設定範囲±3.0000mV/Vを超えています。(ゼロ入力値が1.000mV/Vだった場合は4.0000mV/V) 3mVのスパン内になるようロードセル負荷を調整してください。または等価校正にて数値設定を行ってください。
設定中。		デジタルリミット設定値 HI、LOが同じ数値となっている。	設定時、デジタルリミット設定の[dLHi][dLLo]の数値が同じになっている。プラスの設定がマイナスになっていないかなど確認してください。6頁 スケーリングデータ一覧参照。
設定中。		スケーリングデータのアナログ出力HIとアナログ出力LOの設定が同じ数値になっている。	設定時、アナログ出力設定の[AoHi][AoLo]の数値が同じになっている。プラスの設定がマイナスになっていないかなど確認してください。6頁 スケーリングデータ一覧参照。
設定中。		リニアライズデータの設定数値が設定不可の数値を入れている。	設定時、上下関係が逆転している。数値大 数値小の関係が間違っていないか御確認ください。

以下のエラーが頻繁に出る場合、ノイズ環境が厳しいと考えられます。

電源投入時、及び測定中。		本体メモリの異常。マイコン関連のエラー。	電源を再投入してください。復旧しない場合は御購入店、または弊社までお問い合わせください。
電源投入時、及び測定中。		コンディショニング領域のチェックサムエラー。	コンディショニングデータ[cond]内のデータがエラーとなっております。モードキーの長押しによりエラーから復帰できますが、コンディショニングデータ内の設定値は出荷時設定に戻ります。変更を行っている場合は再度設定してください。(取説 6頁パラメータの一覧参照)
電源投入時、及び測定中。		スケーリングデータ領域のチェックサムエラー。	スケーリングデータ[nEt]内のパターン1のデータがエラーとなっております。モードキーの長押しによりエラーから復帰できますが、パターン1のスケーリングデータ内の設定値は出荷時設定に戻ります。右桁の数値はエラーとなったパターンを示しています。1~8パターンまでありますのでエラーとなったパターンのスケーリングデータを再設定してください。設定不要であれば、初期値のままです。
電源投入時、及び測定中。		コンパレータデータ領域のチェックサムエラー。	コンパレータデータ[con]内のパターン1のデータがエラーとなっております。モードキーの長押しによりエラーから復帰できますが、パターン1のコンパレータデータ内の設定値は出荷時設定に戻ります。右桁の数値はエラーとなったパターンを示しています。1~8パターンまでありますのでエラーとなったパターンのコンパレータデータを再設定してください。設定不要であれば、初期値のままです。
電源投入時、及び測定中。		キャリブレーション領域のチェックサムエラー。	キャリブレーションデータ[cAL]内のパターン1のデータがエラーとなっております。モードキーの長押しによりエラーから復帰できますが、パターン1のキャリブレーションデータ内の設定値は出荷時設定に戻ります。右桁の数値はエラーとなったパターンを示しています。1~8パターンまでありますのでエラーとなったパターンのキャリブレーションデータを再設定してください。設定不要であれば、初期値のままです。
電源投入時、及び測定中。		シフトデータ領域のチェックサムエラー。	シフトデータ[SHFt]内のデータがエラーとなっております。モードキーの長押しによりエラーからは復帰できますが、シフトデータ内の設定値は出荷時設定に戻ります。変更を行っている場合は再度設定してください。(取説 7頁5.5シフトデータ設定参照)
電源投入時、及び測定中。		リニアライズ領域のチェックサムエラー。	リニアライズデータ[LinE]内のデータがエラーとなっております。モードキーの長押しによりエラーからは復帰できますが、リニアライズデータ内の設定値は出荷時設定に戻ります。変更を行っている場合は再度設定してください。設定不要であれば、初期値のままです。(取説 9頁5.7リニアライズデータ設定参照)